

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名: 川部 洋

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R7.5.9	R7.5.9 13:00～ 17:00	オンライン	ローカル・マニフェスト推進連盟		地方政策と議会改革を学ぶ研修会「官民連携の最前線と、議選監査の役割と活用法」	4-6
R7.5.14 ～16	R7.5.14 10:30～ 11:00	大阪市此花区夢洲東1	国際博覧会推進本部事務局		大阪・関西万博自治体向け研修への参加	5-7
	R7.5.14 13:00～ 14:00	大阪市住之江区南港北1-5-102	RX Japan 合同会社		〔関西〕ロボデックス2025への参加	
	R7.5.15 13:00～ 19:30	千代田区神田駿河台1-1	日本自治創造学会		第17回日本自治創造学会研究大会への参加	
	R7.5.16 10:00～ 15:00	同上	同上		同上	
R7.5.23 ～24	R7.5.23 12:30～ 13:15	江東区潮見1-3-2	公益財団法人東京都環境公社	総務部総務課広報担当課長富永和幸氏	水素情報館東京スイソミルの見学	5-13
	R7.5.23 15:00～ 17:00	千代田区永田町2-1-1	参議院議員	藤井一博氏	水素発電の誘致についての相談	
	R7.5.23 17:20～ 19:00	港区白金台5-20-2	台北駐日経済文化代表処	台北駐日経済文化代表処 政務副代表 蔡明耀氏	蔡明耀氏との面談	
	R7.5.24 10:00～ 11:30	流山市三輪野山4-21-12	合同会社まちみらい	代表社員 寺沢弘樹氏	病院PFIの実現性と可能性について意見交換	
R7.8.18 ～19	R7.8.18 13:30～ 15:00	さいたま市浦和区高砂3-15-1	①埼玉県議会 ②埼玉県	①自民党議員団柿沼貴志議員、他3名 ②福祉部社会福	埼玉県拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例	8-12

				社課長浅見洋氏 ・教育局人権教育課長 松本光司氏	制定の取組について意見交換	
	R7.8.19 09:15～ 10:45	新潟市中央区 新光町 4-1	① 新潟県議会 ② 新潟県	①高橋直揮議員 ②国際課拉致問題室長古田一人氏、他 1 名	新潟県拉致問題等の啓発の推進に関する条例制定について意見交換	
R7.9.2 ～3	R7.9.2 15:00～ 16:45	津山市山下 30-1	鳥取岡山県境議員連盟	県境議連所属議員、事務局職員	鳥取岡山県境議員連盟総会への参加	9-4
	R7.9.3 09:30～ 11:30	美作市美来 1	美作市	萩原誠司市長、総合戦略監森本章敬氏	水素発電事業者誘致の取り組みについて情報交換	
R7.9.8 ～10	R7.9.8 12:00～ 14:00	匠瑤市飯塚 1037-1	市民エネルギーちば(株)	環境事業部 本部長 [REDACTED] 氏	ソーラーシェアリングについての調査	9-6
	R7.9.9 09:30～ 11:30	小田原市成田 423-8	合同会社小田原かなごてファーム	代表社員 小山田大和氏	ソーラーシェアリングについての調査	
	R7.9.9 13:30～ 16:30	千代田区九段南 2-2-11	駐日インド大使館	駐日インド大使館関係者、鳥取県関係者等	駐日インド大使館ととりデーへの参加	
	R7.9.10 09:30～ 11:00	相模原市緑区 青野原 329	(株)さがみこファーム	代表取締役社長 山川勇一郎氏	ソーラーシェアリングについての調査	
	R7.9.10 13:00～ 14:30	甲府市下向山 町 3443-1	山梨県企業局	技監 村松修一氏	山梨県の水素発電の取り組みについての調査	
R7.10.9 ～10	R7.10.9 11:30～ 12:00	千代田区永田町 2-3-1	内閣総理大臣	石破茂総理大臣	総理大臣との面談	10-5
	R7.10.9 13:00～ 16:05	①千代田区永田町 1-6-1 ②千代田区永田町 2-1-1		① 赤沢亮正議員 ② 青木一彦議員 出川桃子議員 藤井一博議員 舞立昇治議員	県選出国会議員との面談	

				員		
	R7. 10. 10 09:30～ 12:00	川口市青木 2-1-1	川口市議会	前原たか議員 舩津由徳議員 益田みなみ議員	クルド人問題についての調査	
R7. 10. 17	R7. 10. 17 14:00～ 16:00	岡山市北区津島中 1-1-1	岡山大学大学院教育学研究科実践データサイエンスセンター	寺澤孝文教授	マイクロステップスタディ実践研究についての打ち合わせ	10-11
R7. 11. 2～3	R7. 11. 3 11:30～ 12:30	①下関市豊北町大字北宇賀 3776 ②下関市豊北町大字滝部 5451	①CEF 豊北ウインドファーム寺地サイト ②CEF 豊北ウインドファーム境下サイト	M&P 部プリンシパル [REDACTED] 氏	風力発電とソーラーシェアリングの研究	11-2
R7. 11. 19～20	R7. 11. 19 18:30～ 19:30	岡山市北区野田屋町 1-5-20	岡山県議会鳥取岡山県境議連	市村仁議員 山本雅彦議員	鳥取岡山県境議連政調会	11-18
	R7. 11. 20 09:00～ 10:00	岡山市北区内山下 2-4-6	岡山県	産業労働部産業戦略監 藤原賢典氏、他	森の芸術祭についての研究	
R7. 11. 27～28	R7. 11. 27 10:00～ 11:30	千代田区永田町 2-1-1	厚生労働省	医政局 田川幸太氏	地域医療連携推進法人についての説明	11-22
	R7. 11. 28 10:00～ 11:30	酒田市あきほ町 30	日本海総合病院・山形県酒田市病院機構	理事長 島貫隆夫氏、他	地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットの視察	
R7. 12. 13～14	R7. 12. 13 13:30～ 16:30	京都市左京区岩倉大鷲町 422	株式会社 atacLab	東大先端科学技術研究センター特任教授中邑賢龍氏、他	ATAC カンファレンスへの参加	12-10
	R7. 12. 14 09:20～ 16:20	同上	同上	同上	同上	
R8. 1. 30～31	R8. 1. 30 14:30～ 17:00	千代田区内幸町 2-1-1	自然エネルギー財団	講師：ネクストイノベーション [REDACTED] 氏、他	自然エネルギー財団シンポジウムへの参加	1-28
	R8. 1. 31 09:00～ 12:00	茅ヶ崎市芹沢	はちいち農園	[REDACTED] 氏 [REDACTED] 氏	不耕起栽培の研究	

R8. 2. 9	R8. 2. 9 10:30～ 11:30	岡山市北区内 山下 2-4-6	岡山県庁	伊原木隆太知事	鳥取岡山県境議 員連盟の両県知 事要望の提出	2-31
R8. 2. 17	R8. 2. 17 15:30～ 16:00	鳥取市湖山町 南 4-101	鳥取大学地域 学部	筒井一伸教授	人口減少社会問 題調査特別委員 会提言書につい ての意見交換	2-11
R8. 3. 5	R8. 3. 5 13:00～ 15:00	益田市津田町 1401	持続可能な地 域社会総合研 究所	所長 藤山浩氏	人口減少社会問 題調査特別委員 会提言書報告会 についての打ち 合わせ	3-4

- ・ 交通費（JR 等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が 1 日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活動事項	① 大阪・関西万博自治体向け研修への参加 ② [関西] ロボデックス 2025 への参加 ③ 第 17 回日本自治創造学会研究大会への参加
活動年月日	令和 7 年 5 月 14 日（水） 移動・政務活動・宿泊 同 15 日（木） 移動・政務活動・宿泊 同 16 日（金） 政務活動・移動
場 所	① 大阪市此花区夢洲東 1 大阪関西万博会場 ② 大阪市住之江区南港北 1-5-102 インテックス大阪 ③ 千代田区神田駿河台 1-1 明治大学アカデミーcommons
活動の相手方	① 国際博覧会推進本部事務局 ② RX Japan 合同会社 ③ 日本自治創造学会
活動の目的	① 関西万博を県の振興に繋げるための研究 ② ロボット技術・産業に関する状況の調査 ③ 民主主義・地方自治についての研修
活動の内容	① 大阪・関西万博自治体向け研修への参加 ② [関西] ロボデックス 2025 への参加 ③ 第 17 回日本自治創造学会研究大会への参加
活動の結果等	① 関西万博の自治体向け研修を受けた。鳥取県の振興につなげるための基本的な情報を得ることができた。 ② 毎年参加しているが、今回はヒト型ロボットを調査するのが大きな目的だった。ヒューマノイドや人型ロボットは人口減少下の労働力不足への対策として期待されているが、中国等の動向と比較すると、日本国内でのヒューマノイド・人型ロボットの社会実装にはなお課題が多いと感じた。 ③ これも毎年参加している学会。今年は安野貴博氏の講演があるので楽しみにしていた。自治体 DX において、今は行政運営の効率化だけにフォーカスされているが、今後更に重要になってくるのは、デジタルによって住民が政治に直接参加できる環境の整備だと考えている。安野氏が進めているデジタルによるブロードリスニングがそうであり、台湾のオードリー・タン氏が主張しているプルラリティ、デジタル民主主義等が今後の政治・行政運営において非常に重要な手法になる。
関連領収書番号	5-7

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	① 水素情報館東京スイソミルの見学 ② 水素発電の誘致についての相談 ③ 蔡明耀氏との面談 ④ 病院 PFI の実現性と可能性について意見交換
活 動 年 月 日	令和 7 年 5 月 23 日（金） 移動・政務活動・宿泊 同 24 日（土） 政務活動・移動
場 所	① 江東区潮見 1-3-2 水素情報館スイソミル ② 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 ③ 港区白金台 5-20-2 台北駐日経済文化代表処 ④ 流山市三輪野山 4-21-12 合同会社まちみらい
活動の相手方	① 東京都環境公社総務部総務課広報担当課長富永和幸氏 ② 参議院議員 藤井一博氏 ③ 台北駐日経済文化代表処 政務副代表 〇〇〇 氏 ④ 合同会社まちみらい 代表社員 寺沢弘樹氏
活 動 の 目 的	① 水素社会の実現に向けて自治体ができることを研究 ② 鳥取県への水素発電事業の誘致の実現 ③ 〇〇〇 氏への表敬訪問と意見交換 ④ 病院 PFI の実現性と可能性についての研究
活 動 の 内 容	① 水素情報館スイソミルの見学 ② 参議院議員 藤井一博氏との意見交換 ③ 蔡明耀氏との面談 ④ 寺沢氏との意見交換
活動の結果等	① 水素情報館スイソミルを訪問し、東京都の水素エネルギー利用の普及拡大と社会実装に向けた施策について担当から話を聞いた。鳥取県でも早い時期から水素社会の実現について取り組んできたが、東京都の状況を見ても実現は先になると感じた。 ② 鳥取県に水素発電事業者の進出が検討されており、その実現に向けて意見交換を行った。 ③ 福田議長に同行して台北駐日経済文化代表処の 〇〇〇 氏に表敬訪問し意見交換を行った。 ④ 厚生病院の今後の在り方について、PFI 事業の導入ができないか研究しており、以前日本 PFI/PPP 協会におられ、現在は独立して合同会社まちみらいの代表の寺沢氏と意見交換をした。厚生病院の具体的状況を充分伝えられない中での話でも、地域の銀行を絡ませることで持続可能性の担保をしてはどうかという示唆をいただいた。
関連領収書番号	5-13

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例制定の取組について意見交換
活 動 年 月 日	令和7年8月18日（月） 移動・政務活動・移動・宿泊 同 19日（火） 政務活動・移動
場 所	① さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県議会 ② 新潟市中央区新光町 4-1 新潟県議会
活 動 の 相 手 方	① 自民党議員団 柿沼貴志議員、他3名 福祉部社会福祉課長浅見洋氏・教育局人権教育課長 松本光司氏 ② 高橋直揮議員 国際課拉致問題室長 古田一人氏、他1名
活 動 の 目 的	① 埼玉県拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例制定の取組の調査 ② 新潟県拉致問題等の啓発の推進に関する条例制定の取組についての調査
活 動 の 内 容	① 柿沼貴志議員、他3名と福祉部社会福祉課長浅見洋氏、教育局人権教育課長 松本光司氏から説明を受けその後意見交換 ② 高橋直揮議員、国際課拉致問題室長古田一人氏と他1名から説明を受け、その後意見交換。
活 動 の 結 果 等	この視察の後、令和7年12月議会で「鳥取県拉致問題等の早期解決を目指す取組の推進に関する条例」を制定した。
関連領収書番号	8-12

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	① 鳥取岡山県境議員連盟総会への参加 ② 美作市の水素発電事業者誘致への取り組みについて情報交換
活 動 年 月 日	令和7年9月2日（火） 移動・政務活動・宿泊 同 3日（水） 移動・政務活動・移動
場 所	① 津山市山下 30-1 しろやまテラス ② 美作市美来1 美作市役所
活動の相手方	① 鳥取岡山県境議員連盟所属議員、事務局職員 ② 萩原誠司市長、総合戦略監 森本章敬氏
活 動 の 目 的	① 鳥取岡山県境議員連盟総会への参加 ② 美作市の水素発電事業者誘致への取り組みについて情報交換
活 動 の 内 容	① 鳥取岡山県境議員連盟総会への参加 ② 美作市の水素発電事業者誘致への取り組みについて情報交換
活動の結果等	① 昨年度は県境議連として提言書をまとめ両県知事に提出した。 今年度は両県知事を訪問して提言書を直接手渡すことになり、2月9日には伊原木知事、2月19日には平井知事を訪問し手渡した。 ② 美作市と倉吉市に進出を計画している水素発電事業者の誘致について情報交換を行った。美作市の積極的な姿勢と比較すると、倉吉市においては事業化に向けた検討や関係機関への働きかけをさらに進める必要があると感じた。
関連領収書番号	9-4

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	① ソーラーシェアリングについての調査 ② 〃 ③ 駐日インド大使館とっとりデーへの参加 ④ ソーラーシェアリングについての調査 ⑤ 山梨県の水素発電の取り組みについての調査
活 動 年 月 日	令和7年9月8日（月） 移動・政務活動・宿泊 同 9日（火） 移動・政務活動・移動・宿泊 同 10日（水） 移動・政務活動・移動
場 所	① 匝瑳市飯塚 1037-1 市民エネルギーちば（株） ② 小田原市成田 423-8 合同会社小田原かなごてファーム ③ 千代田区九段南 2-2-11 駐日インド大使館 ④ 相模原市緑区青野原 329 （株）さがみこファーム ⑤ 甲府市下向山町 3443-1 米倉山次世代エネルギーPR 施設きらっと
活 動 の 相 手 方	① 環境事業部 本部長 ■■■■■氏 ② 代表社員 小山田大和氏 ③ 駐日インド大使館関係者、鳥取県関係者等 ④ 代表取締役社長 山川勇一郎氏 ⑤ 山梨県企業局技監 村松修一氏
活 動 の 目 的	① ソーラーシェアリングの導入可能性について調査 ② 〃 ③ 駐日インド大使館とっとりデーへの参加 ④ ソーラーシェアリングの導入可能性についての調査 ⑤ 山梨県の水素発電の取り組みについての調査
活 動 の 内 容	① ■■■■さんの案内でソーラーシェアリング圃場を見学した後、（株）TERRA の■■■さんの説明を聞き、意見交換をした。 ② 小山田さんの案内でソーラーシェアリング圃場を見学した後、説明を聞き、意見交換をした。 ③ 駐日インド大使館とっとりデーに参加した。 ④ 山川さんの案内でソーラーシェアリング圃場を見学した後、説明を聞き、意見交換をした。 ⑤ 村松さんの案内で施設を見学した後、山梨県の水素発電の取り組みについて話を聞いた。

活動の結果等	①②④ソーラーシェアリングの近隣の事例しか知らなかったもので、農業との両立は不可能だと思っていたが、両立を実現している３事例を実際に見て、ソーラーシェアリングの可能性を改めて認識した。その後、鳥取県でも試験場での研究から始めたらどうかと一般質問で取り上げたが、知事をはじめ農林局の認識は以前の私の認識と同じで可能性を感じていないようだ。メガソーラーには一定の規制がかかるようになった中、再エネ発電の拡大の方向は農業との両立、すなわちソーラーシェアリングの普及だと考えている。 ③ この後、インド訪問団としてインド オディシャ州を訪問し、鳥取県とオディシャ州は友好提携に向けて交渉をしている。 ⑤先進的に取り組んでいる山梨県でもグリーン水素の社会実装はかなり苦勞している。有機野菜と同じでグリーン水素の価値を理解してもらえなければ、安く手に入るほうが消費者にとってはいいわけで、グリーン水素の価値を市場で適切に評価してもらうためには、制度的支援や政策的誘導が不可欠であると感じた。
関連領収書番号	9-6

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	① 総理大臣との面談 ② 県選出国会議員との面談 ③ クルド人問題についての調査
活 動 年 月 日	令和7年10月9日（木） 移動・政務活動・宿泊 同 10日（金） 政務活動・移動
場 所	① 千代田区永田町 2-3-1 首相官邸 ② 千代田区永田町 1-6-1 内閣府 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 ③ 川口市青木 2-1-1 川口市議会
活 動 の 相 手 方	① 石破茂氏総理大臣 ② 赤沢亮正氏・青木一彦氏・出川桃子氏・藤井一博氏・舞立昇治氏 ③ 前原たか議員・舩津由徳議員・益田みなみ議員
活 動 の 目 的	① 総理大臣との面談 ② 県選出国会議員との面談 ③ クルド人問題についての調査
活 動 の 内 容	① 総理大臣との面談 ② 県選出国会議員との面談 ③ クルド人問題についての調査
活 動 の 結 果 等	① 総理大臣との面談 ② 県選出国会議員との面談 ③ 川口市のクルド人問題について話を聞いた。外国人だから排除しろなんて思っておらず、クルド人の中にも良い人がいることも理解したうえで、それでもこれ以上、生活を脅かしてほしくないということを、言葉を選びながら話されていた。外国人との共生はあり得ないという発言に、思った以上に状況は良くない。これはクルド人受け入れの特殊事情があるのは私も理解しているが、背景には国の制度対応の不十分さもあり、自治体だけで解決することが難しい課題であると感じた。 鳥取県においても外国人の受け入れについてはよほど慎重に段階を踏んで進めていかなければならないと思った。
関連領収書番号	10-5

活動報告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活動事項	マイクロステップスタディ実践研究についての打ち合わせ
活動年月日	令和7年10月17日（金） 移動・政務活動・移動
場 所	岡山市北区津島中 1-1-1
活動の相手方	岡山大学大学院教育学研究科実践データサイエンスセンター 寺澤孝文教授
活動の目的	マイクロステップスタディ実践研究についての打ち合わせ
活動の内容	マイクロステップスタディ実践研究についての打ち合わせ
活動の結果等	岡山大学寺澤先生の協力の下、倉吉の地域未来塾はばたき教室で数年来実施しているマイクロステップスタディ実践研究について打ち合わせを行った。 マイクロステップスタディは毎日10分程度だけの継続ができれば、努力しなくても記憶が定着するというものだが、本人にその必要性が分からなければ、継続自体が大きなハードルになってしまい定着しないことが問題。それに対して、大学生がメンターとなって声掛けやアドバイスをすることで継続させることができないか試してみようということになった。
関連領収書番号	10-11

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	風力発電とソーラーシェアリングの研究
活 動 年 月 日	令和7年11月2日（日） 移動 同 3日（月） 移動・政務活動・移動
場 所	① 下関市豊北町大字北宇賀 3776 CEF 豊北ウインドファーム寺地 サイト ② 下関市豊北町大字滝部 5451 CEF 豊北ウインドファーム境下サ イト
活動の相手方	（株）CEF M&P 部プリンシパル XXXXXXXXXX 氏
活 動 の 目 的	風力発電が環境に与える影響についての視察とソーラーシェアリン グでの茶栽培の可能性について研究
活 動 の 内 容	（株）CEF の風力発電とソーラーシェアリングで行っている茶栽培 の状況を視察した。
活動の結果等	倉吉と美作で水素発電事業の進出を検討している（株）CEF は全国 で風力発電を行っているが、下関にある豊北ウインドファームで は、風力発電の下でソーラーシェアリングで茶栽培も行っており、 その状況を視察した。 豊北ウインドファームは下関市豊北町の山の上で12基の風車を設 置し発電事業を行っている。近くまで行けば風切り音は聞こえるが 風の音とそう変わりなく、私はあまり気にならなかった。民家から も離れているので特に苦情は無いと聞いた。発電所内にカフェが併 設されており、こんなところに人が来るのか疑問だったが、それな りにお客さんはあるのと、茶栽培をしている人の食堂になっている ということでもあり、経営が不安定なことは無いということだっ た。 ソーラーシェアリングによる茶栽培はかなり大規模で、ベトナム人 の労働者を多数雇用していた。経営的にはこれからだが、海外での 茶の需要増もあり、今後期待できると思われる。
関連領収書番号	11-2

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	① 鳥取岡山県境議連政調会 ② 森の芸術祭についての研究
活 動 年 月 日	令和7年11月19日（水） 移動・政務活動・宿泊 同 20日（木） 政務活動・移動
場 所	① 岡山市北区野田屋町 1-5-20 ② 岡山市北区内山下 2-4-6 岡山県庁
活動の相手方	① 岡山県議会鳥取岡山県境議連 市村仁議員・山本雅彦議員 ② 岡山県産業労働部産業戦略監 藤原賢典氏、他
活 動 の 目 的	① 議連の両県知事への提言の内容と方法についての打ち合わせ ② 森の芸術祭と連携して鳥取県でも同様な取り組みを行うための情報収集
活 動 の 内 容	① 鳥取岡山県境議連政調会 ② 森の芸術祭についての研究
活動の結果等	① 今年度の議連の両県知事への提言について内容とまとめ方の方向性と提言の提出方法について打ち合わせを行った。 内容については鳥取県側で原案を作り、それを基に岡山県側と調整して仕上げる。 提出方法は、議連の各県の代表で両県知事を訪問し手渡すことが決まった。 ② 森の芸術祭は岡山県北の振興策の一つとして行われたが、その成果が想定以上だったため継続が決定した。 次回の2027年に向けて鳥取県でも連携した取り組みを行い、県境地域の広域観光の推進策の一つとするために、芸術祭についての成果と課題を聞いた。 県境議連でも開催するよう提言しており、両県知事も連携していくとの方向性は合意しており、今後具体的な取り組みについて、議連としても提案していきたい。
関連領収書番号	11-18

活 動 報 告 (県 外 ・ 国 外)

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	① 地域医療連携推進法人についての研究 ② 地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットについての事例研究
活 動 年 月 日	令和7年11月27日(木) 移動・政務活動・移動・宿泊 同 28日(金) 政務活動・移動
場 所	① 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館 ② 酒田市あきほ町30 日本海総合病院
活動の相手方	① 医政局 田川幸太氏 ② 理事長 島貫隆夫氏、他
活 動 の 目 的	中部医療圏と厚生病院の今後に向けて、地域医療連携推進法人の可能性を研究するため
活 動 の 内 容	① 地域医療連携推進法人について厚生労働省から説明 ② 地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットの視察
活 動 の 結 果 等	鳥取県中部医療圏の拠点病院である厚生病院も老朽化が進み、患者や勤務する医療関係者にとっても厳しい環境にある。 また、地域の防災拠点病院でありながら、浸水の危険性が高い場所にあり、早急な改修の必要性和安全な場所への移転も同時に検討を進めなければならない。 一方で、中部には9つの民間病院があり、これらと厚生病院が競争しつつも緩やかに役割分担しながら中部医療を支えてきた。 しかし、中部の人口減少は東部・西部に比べて著しく、厚生病院や各病院の経営も厳しい状況にあり、それは今後ますます加速することが予想される。 そうした状況下で、地域医療構想の見直しが始まるが、中部医療圏の現状と先行きはかなり厳しい状況にある。 その解決策の一つとして、地域医療連携推進法人の可能性について研究するために、厚生労働省からの説明と、先進事例である酒田市の日本海ヘルスケアネットの視察を中部振興議連で行った。 全国に法人の事例は多数あるが、日本海ヘルスケアネットは其中でも少ない成功事例だと言える。中部医療圏についても、この事例のように法人が役割を果たせば、非常に有効だと感じた。しかしそれにはキーマンが重要であり、日本海ヘルスケアネットにはそういう人がいたことが成功のポイントだったということも認識した。鳥取県中部の場合、そのキーマンを待っていても仕方がない。議連を中心にして、課題を関係者で共有し、解決策を模索していくしかない。自分たちの地域のことは自分たちで考え、守るというつもりで、さらに中部議連としてこの問題に取り組んでいきたい。
関連領収書番号	11-22

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	ATAC カンファレンスへの参加
活 動 年 月 日	令和 7 年 12 月 13 日（土） 移動・政務活動・宿泊 同 14 日（日） 政務活動・移動
場 所	京都市左京区岩倉大鷲町 422 京都国際会館
活動の相手方	主催：株式会社 atacLab 講師：東京大学先端科学技術研究センター特任教授中邑賢龍氏、他
活 動 の 目 的	インクルーシブ教育の理論と実践例などを知るため
活 動 の 内 容	ATAC カンファレンスへの参加
活動の結果等	障害のある人や日々の生活に困難さを感じている人たちの 学び・働き・暮らし を支える支援技術やノウハウを提供している（株）atacLab（エイタックラボ）が毎年12月に開催するカンファレンス。全国から多くの教育・福祉関係者が参加しており、私も毎年欠かさず参加している。2025 年は「To be a bit of an expert - ちょっとした専門家になろう - 」というテーマで開催された。鳥取の現場では行われていないようなインクルーシブ教育の実践例などを知ることができ、毎年大きな刺激を受けている。 ただ、これまでも何度か一般質問で真の意味のインクルーシブ教育の導入を取り上げてきたが、教育委員会や学校現場との認識のずれを感じるばかりである。これまでもこういうカンファレンスがあることについて情報は教育長にも伝えてきたが、ぜひ鳥取県の多くの教育関係者にも、このカンファレンスに参加して視野を広げてもらえるよう、働きかけを続けたい。
関連領収書番号	12-10

活動報告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活動事項	① 自然エネルギー財団シンポジウムへの参加 ② 不耕起栽培の研究
活動年月日	令和8年1月30日（金） 移動・政務活動・宿泊 同 31日（土） 移動・政務活動・移動
場所	① 千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング ② 茅ヶ崎市芹沢 はちいち農園
活動の相手方	① 自然エネルギー財団 講師：ネクストイノベーション 大塚健夫氏、他 ② はちいち農園 ■■■氏・■■■氏
活動の目的	① ソーラーシェアリングの実装可能性についての研究 ② ソーラーシェアリングの鳥取での実装について打ち合わせ
活動の内容	① 自然エネルギー財団シンポジウム 「実践者が語る、ソーラーシェアリングの価値」への参加 ② 大豆の不耕起栽培とソーラーシェアリングを組み合わせた事業の鳥取での展開についての打ち合わせ
活動の結果等	① 域外資本によるメガソーラーや大規模風力発電が環境破壊を招くなど、地域との軋轢が各所で生じており、再エネ発電への風当たりは強くなっている。しかしながら、燃料の多くを輸入に頼っている日本において再エネ発電の拡大は避けられない政策課題である。また、今後の人口減少による世帯あたりの送電コストの上昇と地域のレジリエンスの強化を考えたときに、特に地方部においては再エネ発電の普及は生活インフラを守るためにも必須である。そうした状況下で、今後の再エネ発電の日本での拡大においてソーラーシェアリングは非常にポテンシャルの高い手法である。そのさまざまな実践事例を学ぶことができた。 ② たまたま知り合いになった はちいち農園の■■■夫妻から、不耕起栽培の大豆をアイスクリームにして販売しているという話を聞き、以前ソーラーシェアリングの視察で訪問した匝瑳市の市民エネルギーちばとの繋がりがわかった。お互い意気投合して、鳥取での事業展開の可能性について意見交換を重ねてきた。その実現に向けて、打ち合わせのためにはちいち農園を訪問した。鳥取中部の脱炭素先行地域におけるソーラーシェアリングの取組との連携も含めて、話を進めている。
関連領収書番号	1-28

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活 動 事 項	鳥取岡山県境議員連盟の両県知事への提言書の提出
活 動 年 月 日	令和8年2月9日（月） 移動・政務活動・移動
場 所	岡山市北区内山下2-4-6 岡山県庁
活動の相手方	知事 伊原木隆太氏
活 動 の 目 的	鳥取県と岡山県の県境地域の振興のため
活 動 の 内 容	鳥取岡山県境議員連盟の両県知事への提言書の提出
活動の結果等	鳥取岡山県境議員連盟で県境地域の振興のための提言書を両県知事に提出した。 森の芸術祭2027での広域的な文化観光における連携など連携提言の内容について具体化している。
関連領収書番号	2-31

活動報告（県外・国外）

議員名： 川部 洋

活動事項	人口減少社会問題調査特別委員会提言書報告会について打ち合わせ
活動年月日	令和8年3月5日（木） 移動・政務活動・移動
場所	益田市津田町 1401 持続可能な地域社会総合研究所
活動の相手方	所長 藤山浩氏
活動の目的	人口減少社会問題調査特別委員会提言書報告会について打ち合わせ
活動の内容	人口減少社会問題調査特別委員会提言書報告会について打ち合わせ
活動の結果等	4月17日開催の人口減少社会問題調査特別委員会の提言書の報告会の基調講演の講師に藤山氏を招聘した。提言書の内容と報告会の趣旨を事前に説明するための打ち合わせを行った。 報告会には200人以上の参加者があり、藤山氏の講演も好評で有意義な会になった。
関連領収書番号	3-4